

平成27年度 柏市総合交通計画推進協議会 資料

柏市総合交通計画の進捗について (重点的取り組み施策の達成状況)

平成27年8月28日
柏市交通政策課

計画推進スケジュール

全体の計画期間 10年間(平成22年度～平成31年度)

○短期：平成22年度～平成26年度

- ・現時点で早急に取り組むべき課題について、概ね5年間で取り組む施策
- ・中心市街地活性化事業等、既に検討が行われ、施策の実現が見込まれる施策
- ・既存施設や仕組みの有効活用によって効率的に実現が可能で、費用対効果を見込みやすい施策

○中期：平成27年度～平成28年度

- ・直ぐに解決が困難であっても、将来像を目指すために中期的に取り組むべき施策
- ・個別の具体的な整備計画等の検討が必要で、十分な検討が必要な施策

○長期：平成29年度～平成31年度

- ・本計画の目指す将来像を実現するために長期的に継続して取り組むとともに、実現に向けて常時議論を重ねていく施策
- ・財政的に規模が大きく、また関係する主体も多く、調整・実現に長期間を要する施策

平成27年度

- ①短期5カ年で取り組んだ施策の実績を中間評価
- ②中間評価の結果に基づく施策の見直し
- ③今後の推進について
(今後5カ年の重点施策)

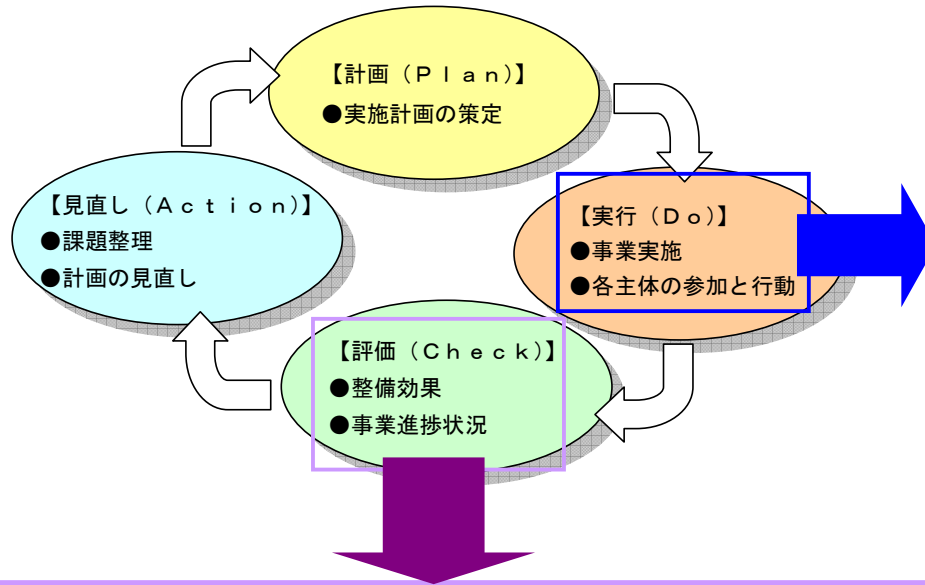
①～③について
市民公表を予定

平成31年度

市民アンケート等を活用した計画期間中に取り組んだ施策の効果等を評価。

次期総合交通計画の策定（予定）

■ 柏市総合交通計画推進協議会の進め方



平成22年度～26年度

基本方針, 施策の方向, 施策内容に沿った事業を実施

	《基本方針》	《施策の方向》	《施策内容》
目標1 環境・ひとびとがやさしい交通	●方針1 自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備	A. バス交通等の利便性向上	①バス路線の充実 ②かしわコミュニティバス・かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進 ③バス運行情報の提供(バスロケーションシステム) ④バスのバリアフリー化
		B. 乗り継ぎの円滑化	①駅前広場の整備 ②駅アクセスの向上 ③乗り継ぎ情報の提供
		C. 鉄道の利便性向上	①駅舎の改良 ②駅のバリアフリー化 ③駅の案内表示
		D. タクシーの利便性向上	①タクシー乗場の改善 ②タクシー事業の活性化
		E. 環境負荷の軽減	①自動車交通量の削減 ②クリーンエネルギー技術の利用
	●方針2 物流システムの適正化・効率化の推進	F. 端末物流対策	①路上荷捌きの対策

柏市総合交通計画推進協議会 (平成27年度)

第1回協議会 (8/28)

- ・協議会の進め方
- ・総合計画の評価方法について
- ・柏市による施策の中間評価について
- ・今後の方向性について (情報共有・意見交換)
- ・その他

第2回協議会 (11月予定)

- ・前回会議の振り返り
- ・今後の施策の推進
- ・重点的に取り組む施策
- ・その他

以下, 事務局取り纏め

- ・外部評価案
- ・施策の見直しについて
- ・今後の推進について
- ・その他

(H28年1月末頃)
評価結果他
市民へ公表

■ 柏市総合交通計画の中間期の評価方法について

施策の評価(一例)

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-②コミュニティバス、かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進

●既存システムについては、運行経路の見直し、乗り場ごとの運賃制度の拡充、利用促進のPR活動などにより、費用対効果の改善および乗客の確保を図っていく。

実施主体	スケジュール	短期	中期	長期	達成度
		22～26年度	27～29年度	29～31年度	
柏市 交通事業者	計 画 実 績 (26年度末)		利用促進		A
進捗状況 平成25年3月の沼南地域の交通改善において、コミュニティバスから予約型相乗りタクシーに切り替えるとともに、ジャンボタクシーの運行ルートを見直した。 その他、ジャンボタクシーの利用促進として、バスロケーションシステムを開発した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■乗合ジャンボタクシー路線図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■乗合ジャンボタクシーバスロケーションシステム</p> </div> </div>					
今後の方向性(中期以降) 乗合ジャンボタクシーについては、市民ニーズを踏まえ、運営、運行計画の見直しを行っていく。					

● 評価の方針

- ① 評価を施策実績(アウトプット)と施策効果(アウトカム)に分類。
- ② 施策効果については、施策の効果浸透等により、効果の現れにタイムロスが生ずる。
- ③ よって、**中間期については施策実績による評価に重点を置く。**
- ④ 施策効果の評価については、市民アンケート及びパーソントリップ調査(平成30年度実施予定)結果等により、定量的に分析評価を行う。

● 施策実績による評価

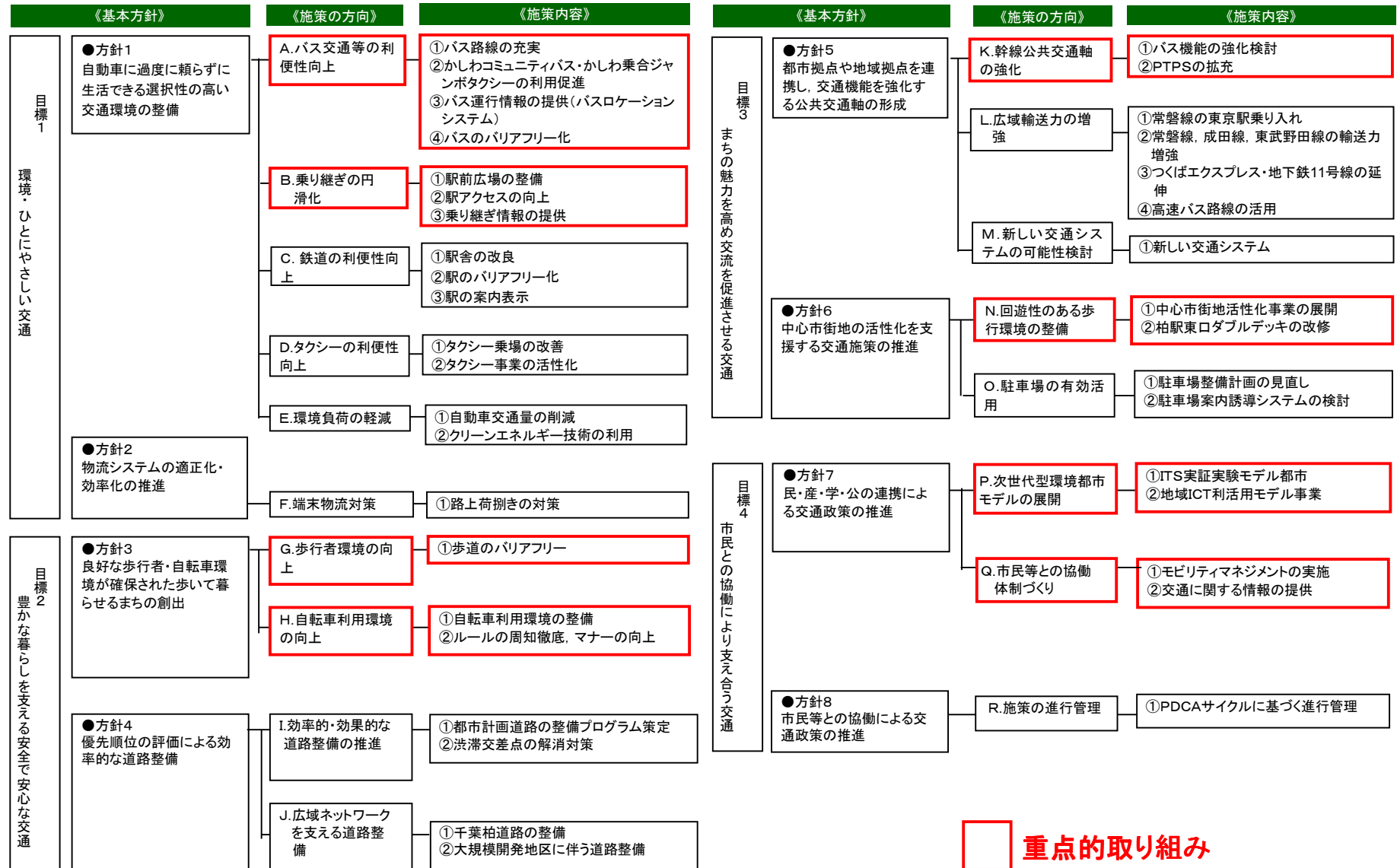
- ① 施策単位ごとに、評価スケジュールにおける施策実施の達成度を3段階で評価する。
 - 計画に対して80～100%の実績を「A」とする。
 - 〃 50～80%の実績を「B」とする。
 - 〃 50%未満の実績を「C」とする。
- ② 計画量については、期間内に位置付けた施策を完了させるまでの事務事業量とする。
- ③ 実績量については、平成26年度末時点での施策を進めてきた事務事業量とする。
- ④ 計画量に対する実績量をもって施策の達成度をみる。
- ⑤ 交通政策課が取り纏めた内部評価については、協議会における議論を経た後、市民に公表するとともにパブコメ等の結果を反映し最終とする。

● 今後の方向性

- ① 施策の実績状況を踏まえた今後の展開、後期5年間で重点的に取り組むべき施策、施策の見直しの必要性他について取り纏める。

■ 柏市総合交通計画の理念・目標・方針

【理念】 環境想造都市づくりを支え、豊かな暮らし、多様な交流を実現する交通



重点的取り組み

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針1:自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

①バス路線の充実

・利用者ニーズに合った路線であるか評価し、ニーズに合った路線編成を検討していく。

②コミュニティバス・かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進

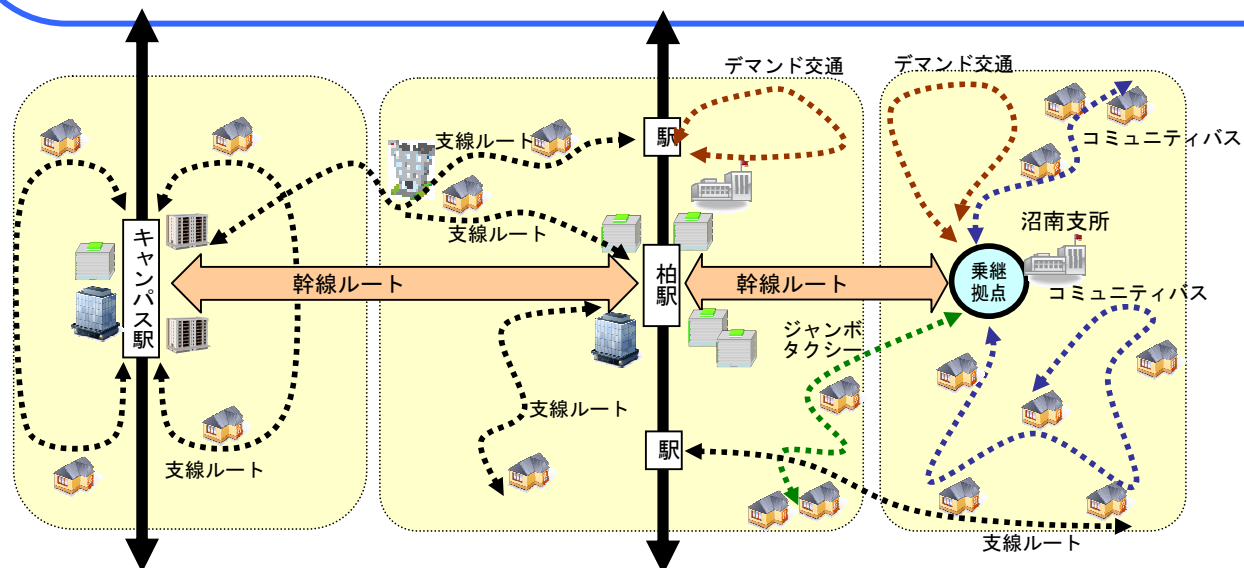
・運行経路の見直し, 乗り継ぎ運賃制度の拡充, 利用促進のPR活動などにより, 費用対効果の改善を図っていく。

③バス運行情報の提供(バスロケーションシステム)

・バス停留所等における発車時刻や運行状況などの掲示を整備していく。

④バスのバリアフリー化

・高齢者や障害者等が利用しやすいノンステップバス車両の導入を進めていく。



■バス運行案内



A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-①バス路線の充実

- 道路や駅前広場の整備に合わせて、幹線的な路線バスルートを見直すとともに、市民ニーズに対応した利便性の高いバスサービスであるか評価し、路線再編成を検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	道路・駅前広場整備やニーズに併せた路線の新設・再編成			B
	実績 (26年度末)	路線新設・再編成			

進捗状況

平成26年8月、既設バス路線の再編成に併せて、柏駅⇄新柏駅間のバス路線が開設された。

その他、市民ニーズへの対応として、江戸川台駅～みどり台～柏の葉キャンパス駅間の小型バスによる路線の開設、十余二工業団地内の大型物流倉庫稼動に併せ、柏の葉キャンパス駅からのバス路線が開設された。

■新柏駅前



■バス路線図



今後の方向性（中期以降）

今後も、市民ニーズに対応していくとともに、まちづくりに併せたバス路線の再編成を行うべく、交通事業者と協議していく。

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-②コミュニティバス, かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進

- 既存システムについては, 運行経路の見直し, 乗り継ぎ運賃制度の拡充, 利用促進のPR活動などにより, 費用対効果の改善および移動の確保を図っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	利用促進			A
	実績 (26年度末)	運行継続 路線の再編			

進捗状況

平成25年3月の沼南地域の交通網再編において, コミュニティバスから予約型相乗りタクシーに切り替えるとともに, ジャンボタクシーの運行ルートを見直した。
 その他, ジャンボタクシーの利用促進として, バスロケーションシステム(WEB版)を開発した。

■乗合ジャンボタクシー路線図



■乗合ジャンボタクシーバスロケーション



今後の方向性 (中期以降)

乗合ジャンボタクシーについては, 市民ニーズを踏まえ, 適宜, 運行計画の見直しを行っていく。

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-③バス運行情報の提供 (バスロケーションシステム)

- 定時性の確保を補い、バス待ちのいらいら等の解消のため、IT技術を活用しインターネット・主要バス停・ターミナル駅において、バスの到着時刻や混雑の状況を提示するなど、バス運行情報の提供による利便性の向上を図る。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	運行情報揭示の整備			C
	実績 (26年度末)	社会実験			

進捗状況

柏駅東口にデジタルサイネージ(デジタル案内板)を設置し、平成25年10月から12月下旬にかけて、柏駅発着の鉄道及びバスのリアルタイムな運行状況を実験的に配信した。
併せて、スマートフォン向けアプリも開発、配信した。

■ スマホアプリ



■ 柏駅東口デジタルサイネージとバスロケーション



今後の方向性 (中期以降)

実験終了後のヒアリング結果によると、デジタルサイネージ自体の認知度は低いものの、交通結節点におけるバス運行情報の提供を求める声が大きかったことから、継続的に実施できるか検討していく。

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-④バスのバリアフリー化

- 高齢者や障害者などが利用しやすい、人にもやさしいノンステップバスやリフト付きバスの導入を順次促進する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	ノンステップ車両の導入推進			A
	実績 (26年度末)	車両の更新			

進捗状況

柏市のノンステップバス導入率(平成27年3月末時点)は約82%となっており、国の目標値(導入率70%)を上回っている。

総車両数	低床バス				リフト付バス
	うちノンステップバス				
	車両数	導入率	車両数	導入率	
198台	162台	81.8%	187台	94.4%	11台

■ノンステップバス



■ワンステップバス



今後の方向性(中期以降)

今後もバス事業者と連携し、バリアフリーの推進に取り組んでいく。

A. バス交通等の利便性向上(重点的取り組み施策)

A-④バスのバリアフリー化

●高齢者や障害者などが利用しやすいバス停留所(バス停上屋・待合ベンチ等)の整備を行っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	待合環境の改善検討			C
	実績 (26年度末)	検討継続			

進捗状況

バス停における待合環境の改善(上屋 & ベンチ設置)については、バス事業者が道路法の許認可に基づき行うことになる。設置する歩道幅員等の問題もあることから、環境の改善につながっていない。

バス停ベンチ

■バス停設置 (上屋・ベンチ有)
(柏の葉キャンパス駅)



■バス停設置 (上屋・ベンチ無)



今後の方向性 (中期以降)

今後も、待合環境改善のために交通事業者と協議を継続していく。

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針1:自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

① 駅前広場の整備

- ・北柏駅北口及び高柳駅西側土地区画整理事業により、各駅前広場を整備していく。

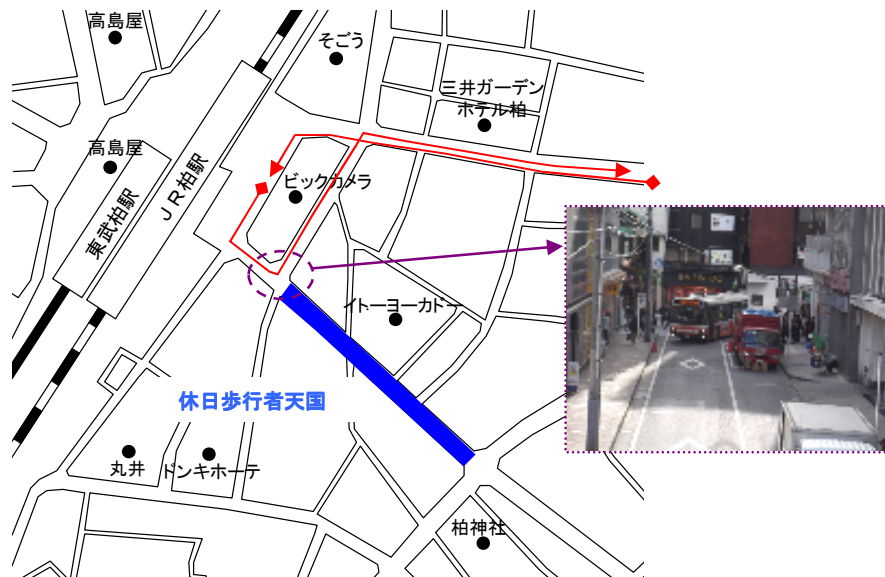
② 駅アクセスの向上

- ・柏駅東口駅前広場への休日バス乗入れの実現に向け調整していく。

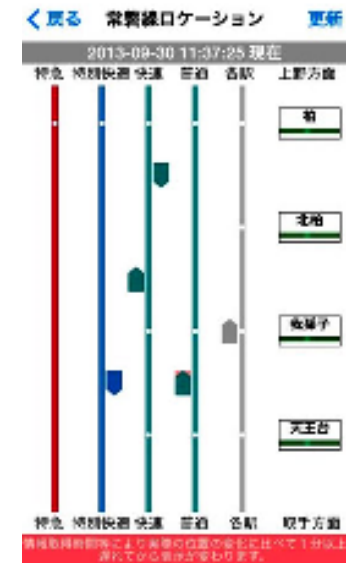
③ 乗り継ぎ情報の提供

- ・IT技術を活用した乗り継ぎ検索システムの構築について検討していく。

■ 柏駅東口への休日バス乗入れ実証実験



■ 鉄道・バスの乗継情報アプリ



B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

B-① 駅前広場の整備

- 異なる交通機関の乗り換え利便性の向上を図るため、北柏駅北口広場の早期整備を図る。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業(組合)	計画	北柏駅前広場の整備			C
	実績 (26年度末)	事業計画の変更			

進捗状況

【北柏駅北口駅前広場】

北口駅前広場については、平成19年4月の暫定広場の供用開始以降、目立った進展はない。

その他、駅利用者の利便性向上策として、平成23年4月に我孫子市のコミュニティ交通である「あびバス」が、暫定広場内に乗入している。

■北柏駅北口暫定駅前広場



今後の方向性（中期以降）

工事着手に向けた諸手続きを継続していく。

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

B-① 駅前広場の整備

- 異なる交通機関の乗り換え利便性の向上を図るため、高柳駅西側土地区画整理事業による西口駅前広場の早期整備を図る。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業(組合)	計画	高柳駅駅前広場の整備			A
	実績 (26年度末)	西口駅前広場 整備完了			

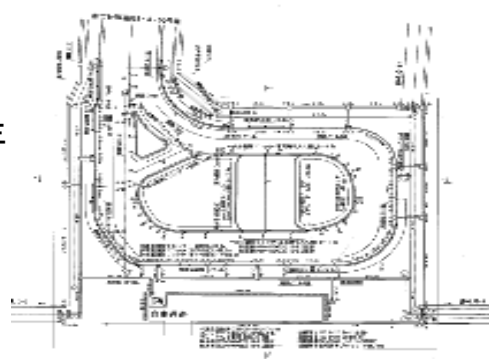
進捗状況

【高柳駅西口駅前広場】

高柳駅西口駅前広場については、平成27年3月に整備が完了した。

また、駅前広場の完成により、路線バスが乗入している。

■ 駅前広場設計図



■ 高柳駅西口駅前広場



今後の方向性 (中期以降)

駅前広場は完成したが、駅舎へのアクセス方法に課題が残っていることから、将来の橋上駅舎化を見据えた自由通路等の整備着手を目指す。

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

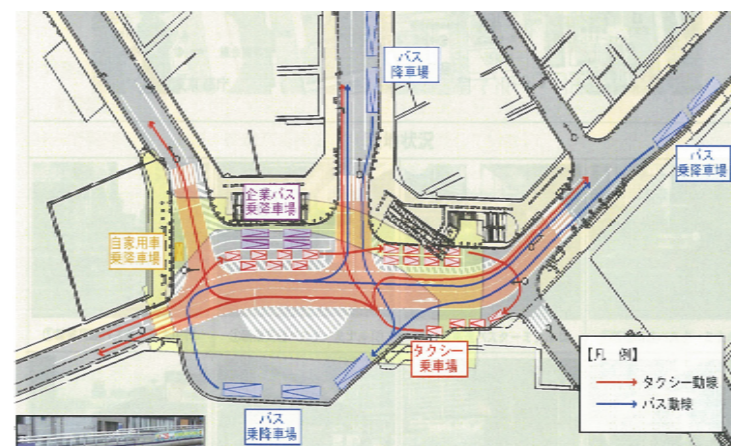
B-① 駅前広場の整備

- 異なる交通機関の乗り換え利便性の向上を図るため、柏駅西口の再開発事業や末広あけぼの線の整備と併せて、柏駅西口駅前広場の交通機能の改善を検討する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業(組合)	計画	柏駅西口駅前広場の改善検討			C
	実績 (26年度末)	安全確保対策実施			

進捗状況

柏駅西口駅前広場には、一般車両の他に路線バス、企業バス、タクシーなど様々な車両が乗入れているが、広場が狭隘のため、交通錯綜の可能性があることから、ショットガン方式によるタクシープール設置、企業バス乗り場付近に交通整備員を配置させるなど、駅前広場の安全を確保している。



今後の方向性 (中期以降)

柏駅西口北地区市街地再開発事業の一つとして、駅前広場の改善方針を定めていく。

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

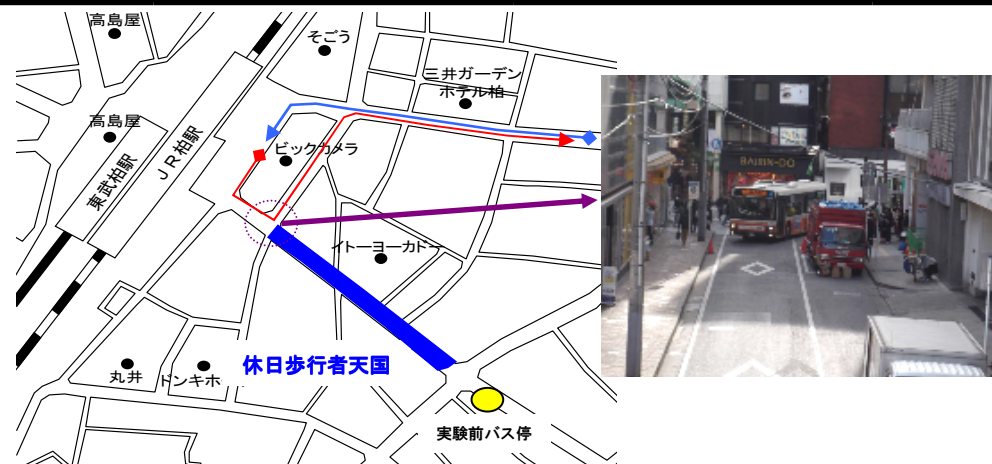
B-② 駅アクセスの向上

- 柏駅東口駅前広場への休日バス乗り入れの実現を図っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通管理者 交通事業者	計画	休日バス 乗り入れ			A
	実績 (26年度末)	実験継続			

進捗状況

バス利用者の利便性向上及び交通結節点機能の向上を目指し、平成25年1月より柏駅東口休日バス乗入実証実験を行っている。



今後の方向性（中期以降）

現在、交通整理員を配置して実証実験を継続している。駅東口のバス乗入については、利用者からも利便性が向上したとの声も寄せられていることから、今後も、駅周辺まちづくり10ヵ年計画と整合を図りながら進めていく。

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

B-② 駅アクセスの向上

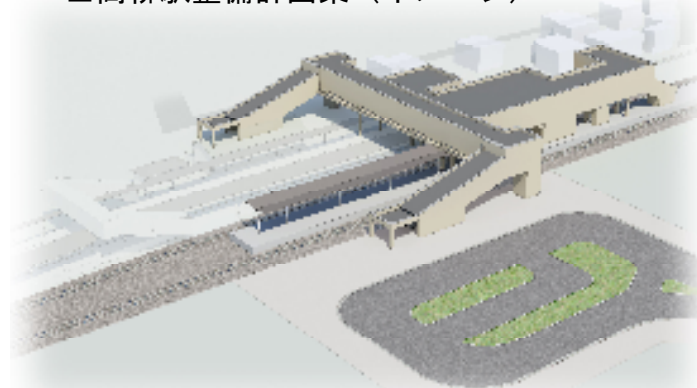
- 高柳駅西側の駅前広場整備に併せて、東口改札へのアクセスを向上させる自由通路の整備を検討する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市	計画	自由通路整備の検討			C
	実績 (26年度末)	基本設計業務完了			

進捗状況

将来の複線化(逆井駅～六実駅間)に対応した自由通路及び橋上駅舎を整備する計画案を策定した。
高柳駅西側特定土地区画整理事業による西口駅前広場整備に併せ自由通路整備に着手、複線化用地の使用開始に併せ橋上駅舎整備に着手する予定である。

■高柳駅整備計画案(イメージ)



今後の方向性(中期以降)

実施済の基本設計業務結果を基に、引き続き詳細設計業務に取り組むと共に、自由通路と橋上駅舎を一体的に整備することで、駅アクセスの向上を図る。

B. 乗り継ぎの円滑化(重点的取り組み施策)

B-③乗り継ぎ情報の提供

- 柏駅をはじめとする鉄道駅では、様々な交通機関を多様な目的の人々が利用するため、わかりやすく利用しやすい、さらには柏らしい統一感にも配慮した案内・誘導サインの充実を図る。
- IT技術を活用し、目的のバス停の行き方、乗換えバス停、乗継時間等の情報について、事前に経路情報を検索できる移動支援情報提供システムの構築など、交通事業者間の連携を図りながら推進する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者 大学 企業	計画	乗り継ぎ検索システムの構築			C
	実績 (26年度末)	実証 実験			

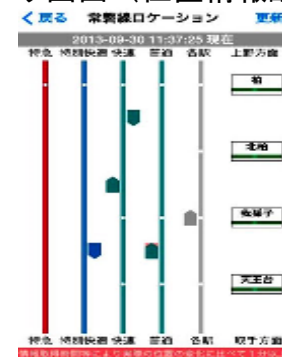
進捗状況

平成25年10月、ITS世界会議東京大会の開催に併せて、東京大学及びJRとの連携により、スマートフォンアプリを活用した柏駅における鉄道とバス乗り継ぎ情報とJR常磐線の列車位置リアルタイム情報配信の実証実験を行った。

■ 実験告知チラシ



■ アプリ画面 (位置情報配信)



今後の方向性 (中期以降)

実証実験後に関係者アンケートを行ったところ、交通結節点における鉄道・バスの乗継情報の提供を求める声が大きかった、今後は柏駅だけではなく、他の鉄道駅や複数のバス事業者との連携についても協議を進めていく。

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針1:自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

C. 鉄道の利便性向上

① 駅舎の改良

- ・柏駅改良計画により, 魅力ある「柏の玄関口」を創造していく。
- ・高柳駅西側土地区画整理事業の進捗に併せた駅改良計画について検討していく。

② 駅のバリアフリー化

- ・バリアフリー基本構想(平成21年度末見直し)に基づき, 各駅にエレベーター等を設置していく。
- ・踏切道の拡幅, エレベーター付き自由通路の整備などにより, 駅周辺バリアフリー化を進める。

③ 駅の案内表示

- ・乗り換え経路, 駅周辺の公共公益施設等への経路案内を整備する。

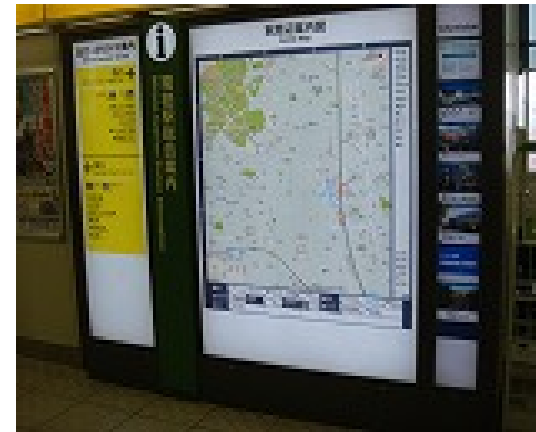
■ 柏駅東口



■ 北柏駅構内の階段



■ 駅周辺の案内表示



C. 鉄道の利便性向上

C-① 駅舎の改良

● 柏駅の改良により、魅力ある「柏の玄関口」を創造していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計 画	柏の玄関口の創造			C
	実 績 (26年度末)	要望活動の継続			

進捗状況

柏駅の駅舎改良(コンコース拡幅, 北口改札口の設置等)について, 県内市町村で構成される千葉県JR複線化等促進期成同盟会を通じて鉄道事業者へ要望活動を実施している。

■ 柏駅東口



■ 柏駅コンコース



今後の方向性 (中期以降)

柏駅の駅舎改良について, 引き続き, 鉄道事業者に対し要望活動を行っていく。

C. 鉄道の利便性向上

C-① 駅舎の改良

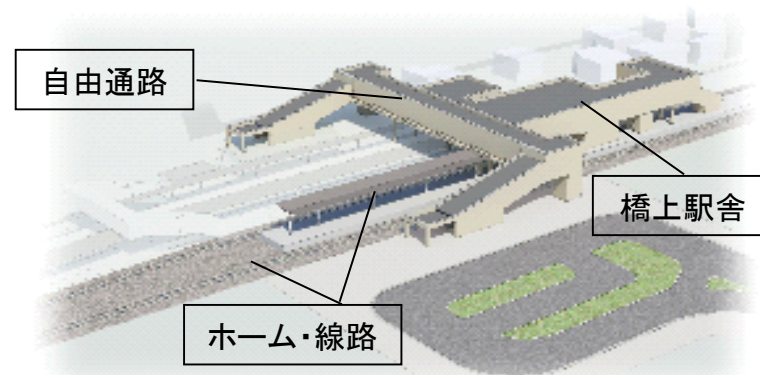
- 高柳駅西側特定土地区画整理事業の進捗に併せた駅改良計画について検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	高柳駅改良計画の検討			C
	実績 (26年度末)	基本設計業務完了			

進捗状況

将来の複線化(逆井駅～六実駅)に対応した自由通路および橋上駅舎を整備する計画案を作成した。
高柳駅西側特定土地区画整理事業による西口駅前広場整備に併せ自由通路整備に着手, 複線化用地の使用開始に併せ橋上駅舎整備に着手する予定である。

■高柳駅整備計画案 イメージ



今後の方向性 (中期以降)

土地区画整理事業の進捗に併せ, 自由通路および橋上駅舎整備を整備していく。

C. 鉄道の利便性向上

C-② 駅のバリアフリー化

●バリアフリー基本構想(平成21年度末見直し)に基づき、各駅にエレベーター等を設置していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	各駅へのエレベーター等の整備			A
	実績 (26年度末)	整備完了			

進捗状況

東武アーバンパークライン高柳駅の構内エレベーター完成(平成25年度)により、市内11の駅構内バリアフリー化率は100%となっている。

また、平成27年3月には、東武柏駅のホームドア設置工事が完了した。

■ 東武高柳駅エレベーター



■ 東武柏駅ホームドア



■ JR北柏駅構内の階段



今後の方向性 (中期以降)

北柏駅構内の段差解消及びホームからの転落防止策(内方線付き点字ブロック設置)について、鉄道事業者との協議を継続していくとともに、北口通路のエスカレーター整備について着手する予定。

C. 鉄道の利便性向上

C-② 駅のバリアフリー化

- 踏切道の拡幅整備などにより、駅周辺バリアフリー化を進める。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	踏切道の拡幅整備			B
	実績 (26年度末)	拡幅工事実施			

進捗状況

逆井駅周辺のバリアフリー特定道路に該当する踏切り部分について、歩道部を拡幅した。



今後の方向性（中期以降）

今後も、道路整備事業に併せて踏切道の拡幅等を進める。

C. 鉄道の利便性向上

C-③ 駅の案内表示

- 乗り換え経路，駅周辺の公共公益施設等への経路案内を整備する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	経路案内の整備			C
	実績 (26年度末)	経路案内の表示			

進捗状況

乗り換え経路，駅周辺の公共施設への案内経路に関して，駅舎外で整備が進んでいる。

■ 公共施設案内・バス経路案内図
(柏駅東口ダブルデッキ上)



■ 公共施設案内 (柏駅東口)



今後の方向性 (中期以降)

整備促進に向け，関係機関との協議を継続していく。

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針1:自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

D. タクシーの利便性向上

①タクシー乗り場の改善

- ・柏駅東口ダブルデッキ改修及び西口北地区の再開発事業(未定)と併せ、タクシー乗り場の改善を検討していく。

②タクシー事業の活性化

- ・利用者の多様なニーズに応じたサービスを提供し、タクシー事業の適正化と活性化を図る。

■ 柏駅東口タクシー乗り場



■ 柏駅東口タクシープール



D. タクシーの利便性向上

D-① タクシー乗場の改善

- タクシー乗場およびIT技術を活用したタクシーの待機環境の改善を検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計 画	タクシー乗場・タクシー待機環境の改善			C
	実 績 (26年度末)	タクシープールの一部改善			

進捗状況

柏駅東口・西口のタクシー乗場から離れた場所にタクシープールを設置し、タクシー乗場に空きができると次の車両が向かうショットガン方式により、タクシー待機環境の改善、駅周辺の交通円滑化に取り組んでいる。

一方で、駅東口付近の交通特性により、特異なタクシー乗車方法となっている。

■東口タクシープール



■駅東口のタクシー乗り場



今後の方向性（中期以降）

今後もショットガン方式により、タクシーの客待ち待機列や、駅周辺の交通渋滞の解消などを図る一方、駅東口のタクシー乗場の改善については、柏駅周辺まちづくり10ヵ年計画にて検討を進める。

D. タクシーの利便性向上

D-② タクシー事業の活性化

●本市域を含む東葛交通圏は、タクシー事業の適正化・活性化法(平成21年10月施行)に基づく、供給過剰の進行等によりタクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮できていない地域(特定地域)に指定されていることから、地域計画への参画・推進を通して、タクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮し、利用者の多様なニーズに対応できるようタクシー事業の適正化・活性化について取り組んでいく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 交通事業者	計画	タクシー事業の適正化・活性化			C
	実績 (26年度末)	各種取組実施			

進捗状況

タクシー事業適正化・活性化協議会で作成した地域計画に基づき、適正化・活性化の取り組みを行ってきた。平成26年1月27日に改正法が施行され、旧法の協議会から新協議会へ移行したが、引き続き各種の取り組みを進めている。

千葉県タクシー協会では、平成23年度から県内の小・中学校生を対象とした「タクシー体験交流会」を開催している。

■EVタクシー



■タクシー体験交流会 (福祉車両等の乗車体験)



今後の方向性（中期以降）

今後も、新協議会の地域計画に基づき、様々な適正化・活性化の取り組みを行っていく。

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針1:自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

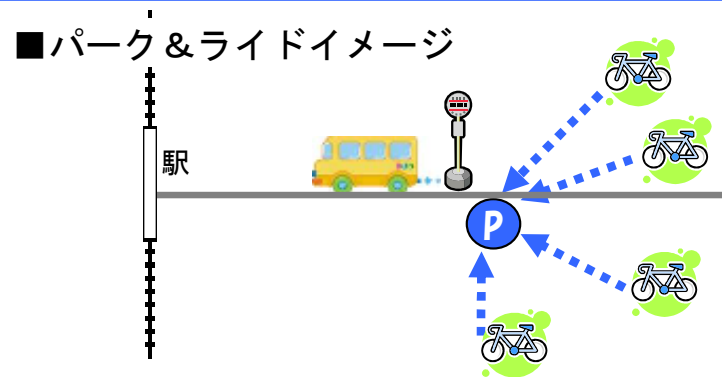
E. 環境負荷の軽減

①自動車交通量の削減

- ・公共交通機関利用への啓発や誘導, パーク&ライド, カーシェアリング等の様々な取り組みを
実践し, 自動車交通量の総量削減に努めていく。

②クリーンエネルギー技術の利用

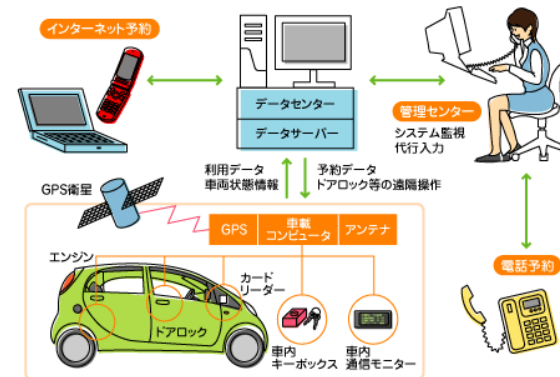
- ・CNG(天然ガス)車両など省エネ・低公害車両の導入等による環境負荷を軽減していく。



■東武バスのCNG(天然ガス)車両



■カーシェアリング



E. 環境負荷の軽減

E-①自動車交通量の削減

●公共交通機関利用への啓発や誘導、パーク&ライド、カーシェアリング等の様々な取り組みを実践し、自動車交通量の総量削減に努めていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国, 千葉県 柏市 企業 市民	計 画	自動車交通量の総量削減を推進			A
	実 績 (26年度末)	マルチ交通シェアリングの運用			

進捗状況

「マルチ交通シェアリング」は、電気自動車などのエコカー、電動バイク、電動アシスト自転車、自転車など複数種類の乗り物を一つの貸出・返却システムで統合運用しており、駅周辺の時間貸駐車場及び商業施設駐車場他で事業展開されている。

■シェアリングポート
(柏の葉ゲートスクエア)



■駐車場管理会社による
カーシェアリング



今後の方向性（中期以降）

柏の葉エリアを中心に展開しているマルチ交通シェアリングや柏駅周辺の民間カーシェアリングの利用促進を図り、自動車交通量の総量削減を推進する。

E. 環境負荷の軽減

E-②クリーンエネルギー技術の利用

●これまでバスへのCNG(天然ガス)車の導入・普及促進などにより、環境負荷の軽減を図っているが、CNG車だけでなく、ハイブリッド車、電気自動車等の集中的かつ計画的な導入及び次世代自動車導入に向けた環境整備を重点的に実施する。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国, 千葉県 柏市 交通事業者 大学, 企業 市民	計画	クリーンエネルギー技術の活用			A
	実績 (26年度末)	低公害車の 普及促進			

進捗状況

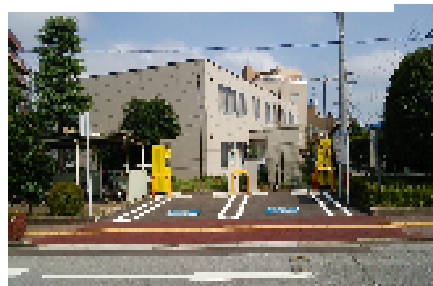
各実施主体において、ハイブリッド車、CNG(天然ガス)車、EV車などの低公害車を導入している。

また、柏市では電気自動車の普及に伴い、国の補助金を活用し、市内の公共施設等に充電スポットを設置している。

なお、平成27年度末の柏市内における低公害車の普及率(目標値)は約55.0%としている。

(平成25年3月末現在の普及率は47.80%)

■EV充電ステーション
(柏市役所敷地内)



■EVタクシー



今後の方向性(中期以降)

各実施主体において、低公害車の導入を進めていく一方、低公害車の普及促進のための環境整備を実施していく。

【目標1】環境・ひとにやさしい交通

●方針2:物流システムの適正化・効率化の推進

F. 端末物流対策

①路上荷捌きの対策

- ・小規模の商業ビルが混在する地区にあつては、運送事業者・商業者が協働した荷捌き駐を検討していく。
- ・横持ち搬送が歩行者と混在する時間や距離、発生する回数が多い地区にあつては、運送事業者が協働した共同搬送、空間や時間の分離等による対策を検討していく。
- ・新たに整備する物流拠点にあつては、都市交通対策も視野に入れ、高度な物流システム構築を検討していく。

■路上共同荷捌きスペース



出典：東京路線トラック協会

■柏駅東口駅前通り



F. 端末物流対策

F-①路上荷捌きの対策

- 小規模の商業ビルが混在する地区にあつては、運送事業者・商業者が協働した荷捌き駐車を検討していく。
- 横持ち搬送が歩行者と混在する時間や距離、発生する回数が多い地区にあつては、運送事業者・商業者が協働した共同搬送、空間や時間の分離等による対策を検討していく。
- 新たに整備する物流拠点にあつては、都市交通対策も視野に入れ、高度な物流システムの構築を検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業	計 画		協働による荷捌き駐車場の運営検討		C
	実 績 (26年度末)				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">進捗状況</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px; text-align: center;">未着手</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今後の方向性（中期以降）</div>					
柏駅周辺まちづくり10ヵ年計画と整合を図りながら、駅周辺の路上荷捌き対策について検討していく。					

【目標2】安全で豊かな暮らしを支える交通

●方針3:良好な歩行者・自転車環境が確保された、歩いて暮せるまちの創出

G. 歩行者環境の向上(重点的取り組み施策)

①歩道のバリアフリー

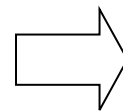
- ・バリアフリー基本構想(平成22年度末見直し)に基づき、歩道の段差解消を進めていく。
- ・歩行等の妨げとなる電柱、植樹帯、看板等の点検を実施しながら、関係機関との連携により改善を図っていく。

■安全な歩行者空間の創出 (柏駅東口二番街)



出典：二番街商店街HP

■電線地中化による歩行者空間の拡大



出典：国土交通省HP

G. 歩行者環境の向上(重点的取り組み施策)

G-①歩道のバリアフリー

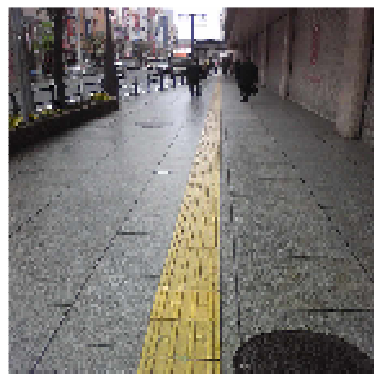
- バリアフリー基本構想に基づき、歩道の段差解消を進めていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 企業	計画	歩道の段差解消			B
	実績 (26年度末)	歩道のフラット化 誘導ブロック設置			

進捗状況

柏の鉄道駅周辺をバリアフリー重点整備地区と位置付け、地区内歩道の段差解消及び視覚障がい者対応の誘導ブロックを設置している。
併せて、バリアフリー特定事業計画を策定した。

■末広あけぼの線



■逆井駅周辺



今後の方向性（中期以降）

バリアフリー基本構想に基づき計画的にバリアフリー経路の整備を進めていく。

G. 歩行者環境の向上(重点的取り組み施策)

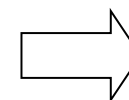
G-①歩道のバリアフリー

- 歩行等の妨げとなる電柱、植樹帯、看板等の点検を実施しながら、関係機関との連携により改善を図っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 企業	計 画	電柱・植樹帯・看板等の総点検			B
	実 績 (26年度末)	植樹帯の撤去			

進捗状況

北柏駅周辺のバリアフリー重点整備蓄内の市道01070号線において、植樹帯を撤去することで、歩行空間を確保している。



今後の方向性（中期以降）

順次、歩道環境の改善を図っていく。

【目標2】安全で豊かな暮らしを支える交通

●方針3:良好な歩行者・自転車環境が確保された、歩いて暮せるまちの創出

H. 自転車利用環境の向上(重点的取り組み施策)

①自転車利用環境の整備

- ・歩行者、自転車、自動車の交通量等の実態、道路の構造を踏まえて、走行空間の分離を推進していく。
- ・自転車総合計画を策定し、計画に従って関係機関が必要な措置を実施していく。

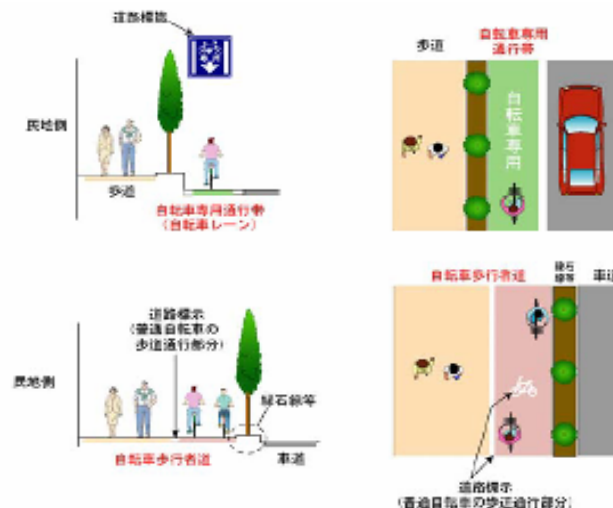
②ルールの周知徹底, マナーの向上

- ・自転車利用者の通行ルールの周知徹底, マナー向上を関係機関と連携した啓発活動等を通じ実施していく。

■通勤通学時の状況



■自転車走行空間イメージ



■交通安全教育



H. 自転車利用環境の向上(重点的取り組み施策)

H-①自転車利用環境の整備

- 歩行者, 自転車, 自動車の交通量等の実態, 道路の構造を踏まえて, 走行環境の分離を推進していく。
- 自転車総合計画を策定し, 関係機関がそれぞれの役割を分担し, 相互に連携・協力しながら, 必要な措置を講じていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国, 千葉県 柏市 交通管理者	計画	走行空間の分離, 整備			B
	実績 (26年度末)	総合計画の策定			

進捗状況

自転車の「はしる」「つかう」「まもる」「とめる」の4分野を柱とした「柏市自転車総合計画」を平成26年度末に策定した。

計画では, 自転車の安全性, 快適性を重要視した上で先行的に整備を行う路線を抽出し, 道路幅員等の状況により各々の整備形態(自転車レーン他)を提示した。

■柏市自転車総合計画



今後の方向性 (中期以降)

自転車総合計画に位置付けた計画対象路線の中から抽出した整備のモデル路線について, 平成28年度以降に着手できるよう, 整備手法など道路管理者及び交通管理者と協議を行っていく。

H. 自転車利用環境の向上(重点的取り組み施策)

H-②ルールの周知徹底, マナーの向上

- 自転車利用者の通行ルールの周知徹底, マナー向上を関係機関と連携した啓発活動等を通じ実施していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
交通管理者 柏市 企業 市民	計画	安全教育・啓発活動・交通事故の防止			B
	実績 (26年度末)	啓発活動の実施			

進捗状況

市民の交通安全に対する関心と意識を高め, 正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付けるため, 広報かしわ柏市HPなどを通じて広報を行うとともに, 交通安全教室の開催や啓発活動を行った。

また自転車通学の多い高校を中心に柏市役所や柏警察, 保護者の協力のもと, マナーアップ隊を結成し, 生徒自ら登下校指導等の啓発活動を行っている。

■交通安全教室



■啓発チラシ



出典: 県HPより

今後の方向性 (中期以降)

平成26年度に策定した柏市自転車総合計画に位置付けた安全教育, 啓発活動に関する施策を進めていく。

【目標2】安全で豊かな暮らしを支える交通

●方針4:優先順位の評価による効率的な道路整備

I. 効率的・効果的な道路整備の推進

①都市計画道路の整備プログラム等の策定

- ・都市計画道路整備プログラムを策定し、計画的に整備していく。

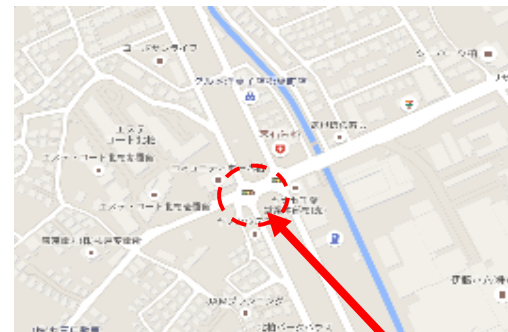
②渋滞交差点の解消対策

- ・交通渋滞が激しく、事故が頻発する交差点については、交通需要をコントロールする施策とともに、渋滞交差点の解消を計画的に進める。

■都市計画道路整備状況



■松ヶ崎城跡北側交差点（根戸ヤナセ前交差点）



I. 効率的・効果的な道路整備の推進

I-①都市計画道路の整備プログラムの策定

- 都市計画道路整備プログラムを策定し、効果的かつ効率的に整備していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市	計 画	都市計画道路整備プログラムの策定			A
	実 績 (26年度末)	策定完了			

進捗状況

平成24年3月に、今後10年間で新たに整備する都市計画道路及び渋滞交差点の整備実施箇所を定めた「柏市都市計画道路等整備プログラム」を策定した。

■柏市都市計画道路等整備プログラム



今後の方向性（中期以降）

都市計画道路については施工中路線の完成を優先するが、当該プログラムに位置づけた新規整備路線の内、1路線については千葉県事業として事業化に至っている。その他路線は順次事業に着手する予定。

I. 効率的・効果的な道路整備の推進

I-② 渋滞交差点の解消対策

●交通渋滞が激しく、事故が頻発する交差点については、交通需要をマネジメントする施策の実施とともに、交差点改良等によるボトルネック箇所の解消を計画的に行い、車両の円滑な通行を図る。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 交通管理者 柏市	計画	交通需要調整・渋滞交差点の解消			C
	実績 (26年度末)	信号現示の変更			

進捗状況

ソフト対策による交通渋滞の緩和を目指し、平成24年度に、市内の渋滞交差点1箇所において信号現示の変更による交通円滑化を実施した。一時的に混雑は解消したものの、交差点改良など抜本的対策が求められる。

■松ヶ崎城跡北側交差点（根戸ヤナセ前交差点）



今後の方向性（中期以降）

今年度より交差点改良事業に着手し、平成30年4月以降の供用開始を目指す。

【目標2】安全で豊かな暮らしを支える交通

●方針4:優先順位の評価による効率的な道路整備

J. 広域ネットワークを支える道路整備

①千葉柏道路の早期整備

- ・千葉柏道路の早期整備, 県道・主要地方道の拡幅等の実現を図っていく。

②大規模開発地区に伴う道路整備

- ・大規模開発にあつては, 地域の現状と上位計画を踏まえ, 広域ネットワークの形成に資する計画を策定し, 必要となる道路整備を実施していく。

■千葉柏道路のルートイメージ



■大型開発に伴う道路整備（左折レーン整備） 国道16号新十余二交差点付近



J. 広域ネットワークを支える道路整備

J-①千葉柏道路の整備

- 国道16号の渋滞解消や千葉県北西部の交通の円滑化を図るため、千葉柏道路の整備、県道・主要地方道の拡幅等の実現を図っていく。

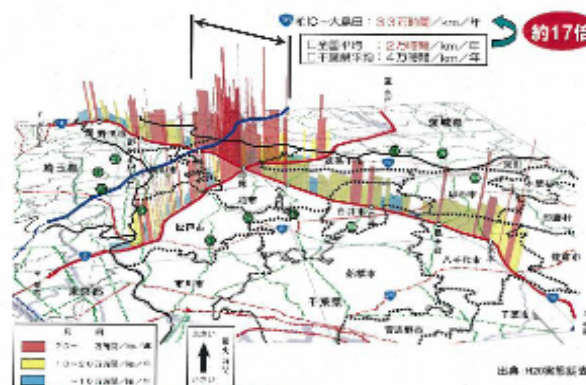
実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市	計画	整備の要請			C
	実績 (26年度末)	要望活動の継続			

進捗状況

千葉柏道路については、国土交通省他に対して要望活動等を行うも、具体的な進展はない。

一方、短期的な対策として、渋滞交差点内に左折レーンの設置、バスベイの設置、十余二工業団地入口交差点から桜台交差点にかけての信号表示サイクルの見直しなどを実施した。

○国道16号(柏市周辺)の渋滞検出時間



今後の方向性（中期以降）

千葉柏道路検討会が再開されたことから、平成20年公表の「利根川沿いルート案」を検討していくとともに、建設促進に向けた要望活動を引き続き実施していく。

J. 広域ネットワークを支える道路整備

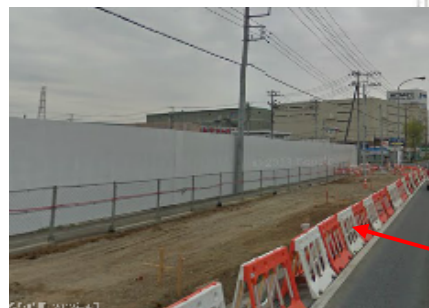
J-②大規模開発地区に伴う道路整備

●大規模開発にあっては、地域の現状と上位計画を踏まえ、周辺交通に支障を与えないよう必要な施設整備計画や広域ネットワークの形成に資する計画を策定するとともに、影響が許容限度をこえるなど、関連交通計画が不適切な場合には、開発事業者との調整による開発計画の見直しを行っていく。

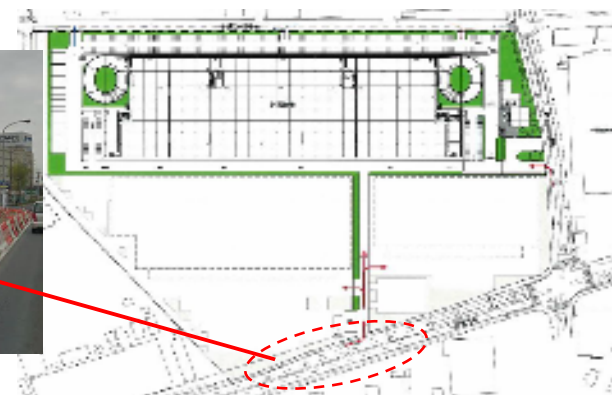
実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
交通管理者 柏市 企業	計画	関連計画，道路整備等の対策			A
	実績 (26年度末)	改良工事実施			

進捗状況

新十余二の大型物流倉庫竣工に併せて、国道の道路管理者である千葉国道事務所と協議の上、十余二工業団地入口交差点付近（千葉方面側）に左折レーンを整備し、左折車両による直進車両の速度の低下を防止し、国道の渋滞緩和を図った。



施工箇所（当時）



出典：SGCロジスティクス柏施設計画概要書

今後の方向性（中期以降）

今後も、柏市と交通管理者＆道路管理者＆施主と協議を行い、案件ごとに周辺道路の交通渋滞の緩和に必要な策を講じていく。

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通

●方針5:都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸の形成

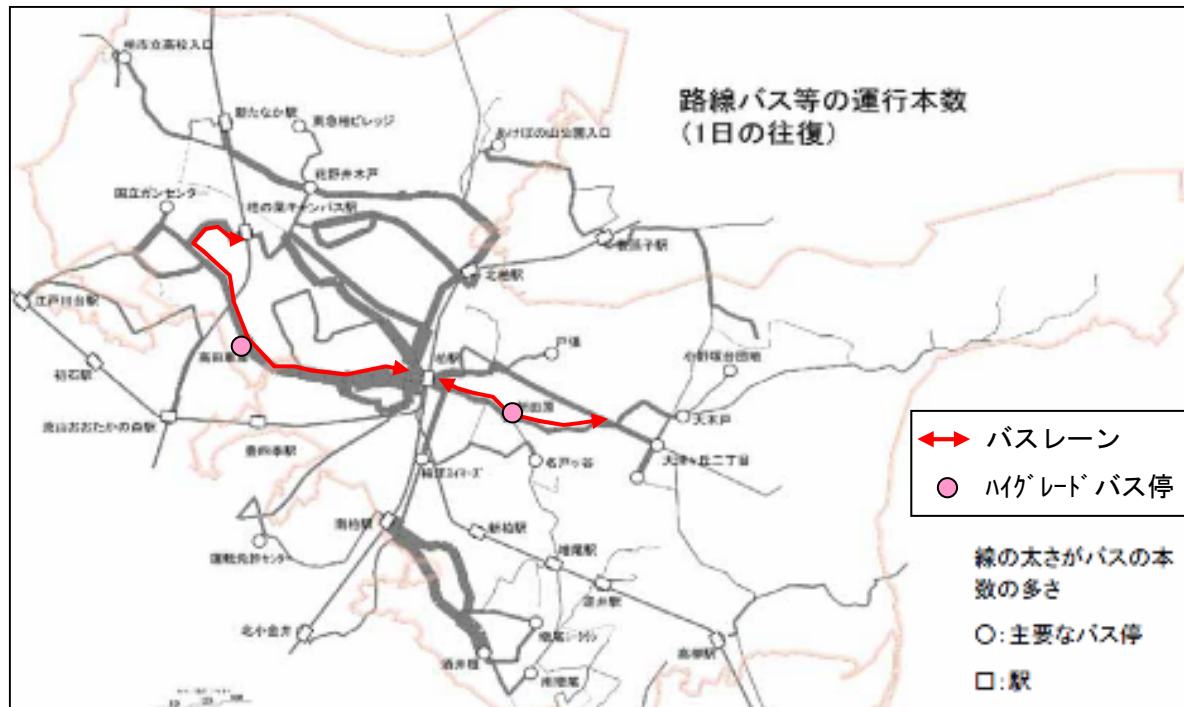
K. 幹線公共交通軸の強化(重点的取り組み施策)

①バス機能の強化検討

- ・都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸には、バス路線が集中している幹線道路の総合的なバス対策の導入を研究していく。

②PTPSの拡充

- ・南柏駅から酒井根、柏駅から沼南支所方面などに連絡するバス路線について、導入拡大を検討していく。



K. 幹線公共交通軸の強化(重点的取り組み施策)

K-①バス機能の強化検討

●都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸には、バスロケーションシステム、乗り継ぎ情報案内、ハイグレードバス停、車両の差別化(新しい車両・拠点間シャトルバス)等の導入検討に加え、幹線バスと支線バスによる交通ネットワークにITS(高度道路情報システム)を活用した「新たな公共交通システム」により、総合的かつ高度なバスシステムの導入を研究していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	バス路線の機能強化を研究			C
	実績 (26年度末)	バスロケの 試験的導入			

進捗状況

柏駅と柏の葉キャンパス駅などの拠点間を結ぶ公共交通軸の強化について検討がなされたが、実現に至っていない。

一方、乗り継ぎ情報案内として、柏駅を対象に鉄道・バス会社の協力のもと、H25年10月から12月にかけてモバイルとデジタルサイネージによる情報提供の実証実験をおこなった。

■ 柏市公共交通軸



■ 柏駅発バスロケーション



今後の方向性 (中期以降)

乗合ジャンボタクシーのバスロケーションシステムに関して、利用者の利便性向上のため、WEB版だけでなくアプリ化などを検討していく。

K. 幹線公共交通軸の強化(重点的取り組み施策)

K-②PTPSの拡充

- 南柏駅から酒井根、柏駅から沼南支所方面などに連絡するバス路線について、導入拡大を検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通管理者 交通事業者	計画	南柏 ⇒ 酒井根 柏駅 ⇒ 沼南方面			C
	実績 (26年度末)	新規導入路線なし			

進捗状況

PTPS(公共車両優先システム)については、平成17年度に柏駅西口～柏の葉公園方面路線において導入済みとなっている。総合交通計画にて、南柏～酒井根方面及び柏駅～沼南方面への展開を想定していたが、導入には至っていない。

■PTPSのイメージ ※PTPS(公共車両優先システム)とは？



今後の方向性 (中期以降)

PTPSの導入については、バスへの車載器取り付けや信号への車両感知器取り付けなど多額の費用を要することから、システム拡充自体の見直しを検討していく。

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通

●方針5:都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸の形成

L. 広域輸送力の増強

①常磐線の東京駅乗り入れ

・快速電車の乗入れ及び東海道線との相互直通運転など具体的な輸送計画を検討していく。

②常磐線、成田線、東武野田線の輸送力増強

・常磐線・成田線の通勤・通学時の増発に向け、関係機関で検討していく。

③つくばエクスプレス、地下鉄11号線の延伸

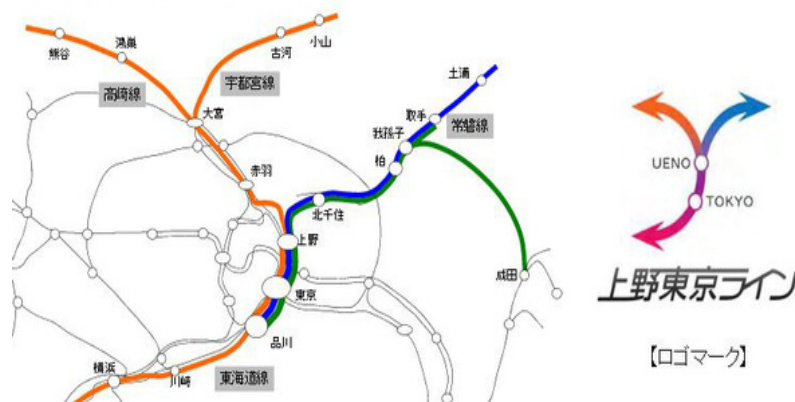
・TXの東京駅までの延伸、地下鉄11号線の南部地域への延伸を図っていく。

④高速バス路線の活用

・多様なニーズに対応する運行経路の見直し、新たな路線の可能性について検討していく。

■整備イメージ

《上野東京ライン運行体系イメージ》



■高速バス



L. 広域輸送力の増強

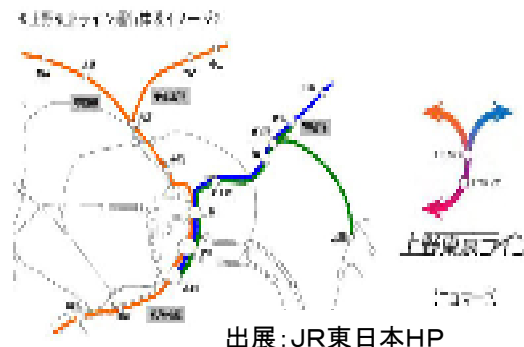
L-①常磐線の東京駅乗り入れ

- 快速電車の乗り入れ及び東海道線との相互直通運転など具体的な輸送計画を検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
交通事業者	計画	輸送計画の検討			A
	実績 (26年度末)	東京駅乗入実現			

進捗状況

東北縦貫線(上野東京ライン)については、常磐線の東京駅乗り入れの早期実現や乗入本数の確保など、千葉県や関係自治体とともに要望活動を行った結果、平成27年3月に常磐線の一部列車について品川駅まで乗入れることとなった。



今後の方向性 (中期以降)

高崎線、宇都宮線との兼ね合いもあるが、常磐線の東京駅乗入本数の増に向けて、関係諸団体と協力して要望活動を継続するとともに、東海道線への直通運転の実現を目指していく。

L. 広域輸送力の増強

L-②常磐線，成田線，東武野田線の輸送力増強

- 常磐線，成田線，東武野田線の通勤・通学時の増発に向け，関係機関で検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 26～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 交通事業者	計画	関係機関で検討			B
	実績 (26年度末)	要望活動の実施			
進捗状況 <p>常磐緩行線(綾瀬駅～我孫子駅間)については，千葉県JR線複線化等促進期成同盟等の要望活動により，平成26年3月のダイヤ改正にて，日中の運行間隔が12分毎に1本から10分毎に1本へと改善した。</p> <p>この他，成田線については，上野東京ラインの開業に併せて午前中の一部時間帯に品川駅までの直通運転が実現したが，深夜時間帯の増発は難しい状況となっている。</p> <p>東武野田線については，高柳駅の橋上駅舎化に併せた高柳～六実間の複線化を一体に協議を進めている。</p>					
今後の方向性（中期以降） <p>常磐線及び成田線の輸送力増強については，千葉県並びに周辺自治体と連携を図り，運行本数の増などを要望していく。</p>					

L. 広域輸送力の増強

L-③ つくばエクスプレス，地下鉄11号線の延伸

●広域及び市内における移動のしやすさのさらなる向上を図るため，つくばエクスプレスの東京駅までの延伸，地下鉄11号線の南部地域への延伸などについて，近隣自治体と協調し関係機関へ働きかける。

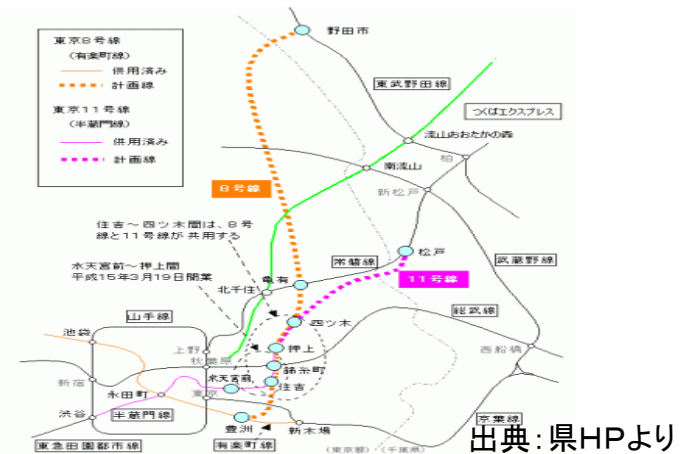
実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 交通事業者	計画	近隣自治体と協調して検討			C
	実績 (26年度末)	要望活動の実施			

進捗状況

秋葉原駅終点となっているつくばエクスプレスの東京駅延伸については，沿線自治体と共に鉄道事業者等に対して要望活動等を行うも，明確な回答がない。併せて，快速電車の停車及び8両編成を要望している。

一方，地下鉄11号線の延伸についても千葉県，沿線市と合同で要望活動を行うも，延伸は厳しい状況である。

なお，地下鉄11号沿線市町協議会については平成24年度末に解散した。



今後の方向性（中期以降）

つくばエクスプレスの東京駅延伸並びに地下鉄11号線の延伸実現に向けて，それぞれ関係団体と連携を図り，鉄道事業者に対し要望活動を行っていく。

L. 広域輸送力の増強

L-④高速バス路線の活用

- 多様なニーズに対応する運行経路の見直し, 新たな路線の可能性について検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	運行経路の見直し・新路線の可能性検討			B
	実績 (26年度末)	新路線の協議			

進捗状況

柏駅と成田空港間の高速バス路線に関しては、利用者減により減便が続いているものの、速達性向上のため、圏央道を通るルートの新設に向けて、運行事業者等と協議中である。

■ 運行路線（現状と今後）



今後の方向性（中期以降）

高速バス路線の充実に向け、バス事業者と連携して協議を進める。

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通

●方針5:都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸の形成

M. 新しい交通システムの可能性検討

①新しい交通システム(BRT等)

- ・本市の都市軸を補完し、都市拠点や地域拠点を相互に連絡しながら交流機能を強化する新しい交通システムの導入可能性を研究していく。

新しい交通システムの事例

■BRT(藤沢市)



■デマンド交通(柏市)



■LRT(富山市)



■エコライド



M. 新しい交通システムの可能性検討

M-①新しい交通システム（先進都市等の取り組み事例）

●本市の都市軸を補完し、都市拠点や地域拠点を相互に連絡しながら交流機能を強化する新しい交通システムの導入可能性を研究していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者	計画	導入可能性を研究			B
	実績 (26年度末)	デマンド 交通運行			

進捗状況

平成25年1月から予約型相乗りタクシー「カシワニクル」の運行を開始した。
エコライドに関しては、柏の葉方面で試験的導入が可能か検討している。

■ デマンド交通（カシワニクル）



■ エコライド（イメージ）



今後の方向性（中期以降）

利用者のニーズを把握するとともに、今後の運行エリアの拡大等を検討していくとともに、会員登録者数の増加に向けたPR活動を行っていく。

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通

●方針6:中心市街地の活性化を支援する交通施策の推進

N. 回遊性のある歩行環境の整備(重点的取り組み施策)

①中心市街地活性化事業の展開

- ・柏駅周辺地区は、まちの特徴と魅力を活かす回遊性の高い歩行動線等の整備を推進していく。

②柏駅東口ダブルデッキの改修

- ・ダブルデッキは駅を中心に展開する歩行者動線の中心となっていることから、耐震化やバリアフリー機能の向上を図り、景観にも配慮した改修を行っていく。

■ 駅東口二番街



● 柏駅東口・二番街

■ 柏駅東口ダブルデッキ



N. 回遊性のある歩行環境の整備(重点的取り組み施策)

N-①中心市街地活性化事業の展開

●柏駅周辺地区については、まちの特徴と魅力を活かすための回遊性の高いまちづくりを目指し、歩行者動線等の整備改善を推進し、安全・安心で快適な歩行者空間の確保に努める。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業	計画	歩行者動線の整備			B
	実績 (26年度末)	整備の継続			

進捗状況

柏駅東口D街区第一地区第1種市街地再開発事業に併せて、歩行者系都市計画道路3路線の整備に着手した。(再開発事業は平成28年度までを予定)
 その他、平成27年度から10カ年を計画期間とする柏駅周辺まちづくり10カ年計画を策定した。

■再開発イメージ



■再開発エリア



今後の方向性（中期以降）

平成26年度策定の柏駅周辺まちづくり10カ年計画を進めるとともに、柏駅西口北地区再開発事業の事業化を検討していく。

N. 回遊性のある歩行環境の整備(重点的取り組み施策)

N-② 柏駅東口ダブルデッキの改修

●ダブルデッキは駅を中心に展開する歩行者動線の中心となっていることから、耐震化やバリアフリー機能の向上を図り、景観にも配慮した改修を行っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業	計画	改修工事			A
	実績 (26年度末)	工事終了			

進捗状況

耐震化やバリアフリー機能の向上のため、東口ダブルデッキの大規模改修を実施し、平成23年度末に整備が終了した。

■改修前



■改修後



今後の方向性（中期以降）

柏駅東口ダブルデッキの大規模改修は完了したが、引き続き、まちの高質化につながる整備を継続する。

【目標3】まちの魅力を高め交流を促進する交通

●方針6:中心市街地の活性化を支援する交通施策の推進

0. 駐車場の有効活用

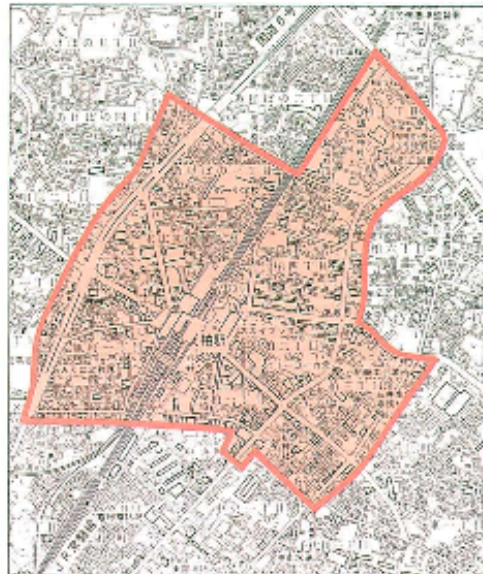
① 駐車場整備計画の見直し

- ・ 駅周辺に過度に自動車を入れず、賑わいと交流を創造する街づくりが重要であることから、駐車場施策の見直しを自動二輪駐車対策も含めて検討していく。

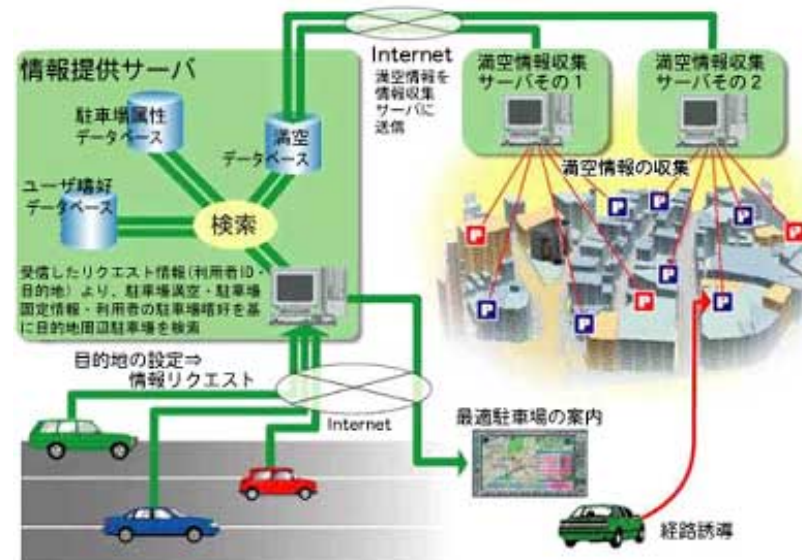
② 駐車場案内・誘導システムの検討

- ・ 駐車まちの渋滞や駐車場を探すうろつき交通を削減するため、目的の駐車場が満車や休業の時は、近くの空いている駐車場に円滑に案内・誘導する駐車場案内システムの導入を図っていく。

■現在の駐車場整備地区



■ITを活用した案内・誘導



0. 駐車場の有効活用

○－① 駐車場整備計画の見直し

● 駐車需要の高い柏駅周辺地区について、駐車場不足による交通混雑や路上駐車に対処するために駐車場整備地区を決定しているが、駅周辺に過度に自動車を入れず、賑わいと交流を創造する街づくりが重要であることから、駐車場施策の見直しを自動二輪駐車対策も含めて検討していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 企業	計 画	駐車場整備計画の 見直し			B
	実 績 (26年度末)	駐車場整備計画の 見直し			
<p>進捗状況</p> <p>平成25年度末までに柏駅周辺における駐車場整備地区内の駐車場を調査した。今後はその結果をもとに付置義務の見直しや駅前における駐車場のあり方を、庁内の関係課や商工会議所等の関係者からのヒアリングを行いながら、付置義務見直しだけでなく、駅前全体の駐車場施策に関する計画を立てていくこととする。現在、本計画に対するパブリックコメントを予定している。</p>					
<p>今後の方向性（中期以降）</p> <p>計画では平成25年度末までに駐車場整備地区の付置義務見直しを予定していたが、計画や調査に不測の時間を要した。平成27年6月頃のパブリックコメント実施後に、本計画の改正を予定している。</p>					

0. 駐車場の有効活用

○ー② 駐車場案内誘導システムの検討

● 駅周辺で大型商業施設が併設する駐車場への駐車まち渋滞や、駐車場を探すうろつき交通を削減するため、目的の駐車場が満車や休業の時は近くの空いている駐車場に円滑に案内・誘導する、駐車場案内・誘導システムの導入を図っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通管理者 企業	計画	駐車場案内・誘導システムの導入検討			C
	実績 (26年度末)	試験的導入			

進捗状況

柏市、商業者、駐車場経営者が参加するマルチモビリティ部会において柏駅周辺の駐車場に対する問題の共通認識を図った。また利用者アンケートを行い、各大型駐車場の利用傾向を把握した。

その他、柏ITS推進協議会の取組みで街情報アプリ「KASHIWAP」を試験的に配信し、アプリ機能として、駐車場情報の配信や誘導が可能か検討した。



目的地までのルートを算出可能

今後の方向性（中期以降）

柏のまち情報アプリ「KASHIWAP」については平成26年度を持って閉鎖されている。新たな駐車場案内誘導システムの検討を行う

【目標4】市民との協働により支えあう交通

●方針7:民・産・学・公の連携による交通政策の推進

P. 次世代型環境都市モデルの展開(重点的取り組み施策)

①ITS実証実験モデル都市

・柏の葉キャンパス地域を中心に、ITS(高度道路交通システム)を利活用し、モーダルミックス、持続可能な交通環境を実現するための取り組み、次世代型モビリティの可能性の検討・検証を行いながら、環境に配慮した次世代環境都市の実現を目指していく。

②地域ICT利活用モデル事業

・柏の葉地域を中心として、ICT(情報通信技術)の利活用により、簡単に複数交通手段から自分の状況とニーズに合った交通手段を選択できるよう支援したり、サイクルシェア導入を視野に必要な手続きを簡単に出来るよう支援するシステムの構築を目指していく。

■ I T S 実証実験



P. 次世代型環境都市モデルの展開(重点的取り組み施策)

P-① ITS 実証実験モデル都市

● 柏の葉キャンパス地域を中心に、ITS(高度道路交通システム)を活用し、モーダルミックス、持続可能な交通環境を実現するための取り組み、次世代型モビリティの可能性の検討・検証を行いながら、環境に配慮した次世代型環境都市の実現を目指していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者 大学 企業	計画	実証実験・検証			B
	実績 (26年度末)	実験事例の発信			

進捗状況

柏市は、平成21年に内閣府によるITS実証実験モデル都市(全国で4市)として位置付けられている。

平成25年10月のITS世界会議東京大会開催に併せて、柏の葉における取組事例を発信した。

■ 交通状況可視化 (CO2 排出量)



■ 超小型EV車両の展示



今後の方向性 (中期以降)

引き続き、公民学の関係者等で構成される柏ITS推進協議会にて、実験等を行っていく。

P. 次世代型環境都市モデルの展開(重点的取り組み施策)

P-②地域 ICT 利活用モデル事業

● 柏の葉地域を中心として、ICT(情報通信技術)の利活用により、簡単に複数交通手段から自分の状況とニーズに合った交通手段を選択できるよう支援したり、サイクルシェア導入を視野において、必要な手続きを簡単に出来るよう支援するシステムの構築を目指していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
柏市 交通事業者 大学 企業	計画	実証実験・検証			A
	実績 (26年度末)	事業の継続			

進捗状況

- ・マルチ交通シェアリングの継続実施
- ・スマートサイクルについては、利用者の利便性向上の為、WEB手続き等のシステム開発を行った

■ マルチ交通シェアリングチラシ



■ スマートサイクルチラシ



今後の方向性 (中期以降)

- ・シェアリング事業の収支を確保し、サステイナブルな交通手段にしていく

【目標4】市民との協働により支えあう交通

●方針7:民・産・学・公の連携による交通政策の推進

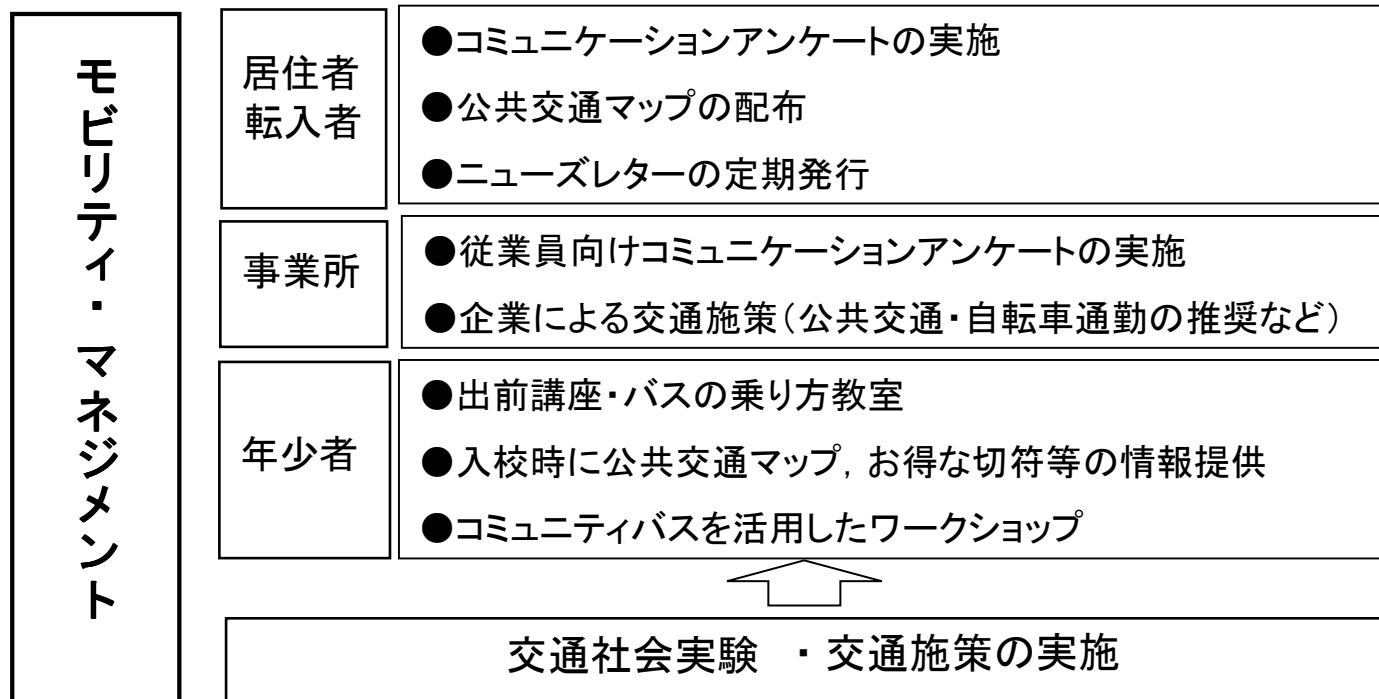
Q. 市民等との協働体制づくり(重点的取り組み施策)

①モビリティマネジメントの実施

- ・市民や企業に向けて、環境や健康などに配慮した交通行動を、大規模かつ個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策により働きかけ、公共交通への転換を促していく。

②交通政策に関する情報の提供

- ・「(仮称)柏交通だより」の発行。出前講座の実施、ホームページの充実などにより、交通に関心を寄せてもらい、協働で交通施策を推進するような意識付けを行っていく。



Q. 市民等との協働体制づくり(重点的取り組み施策)

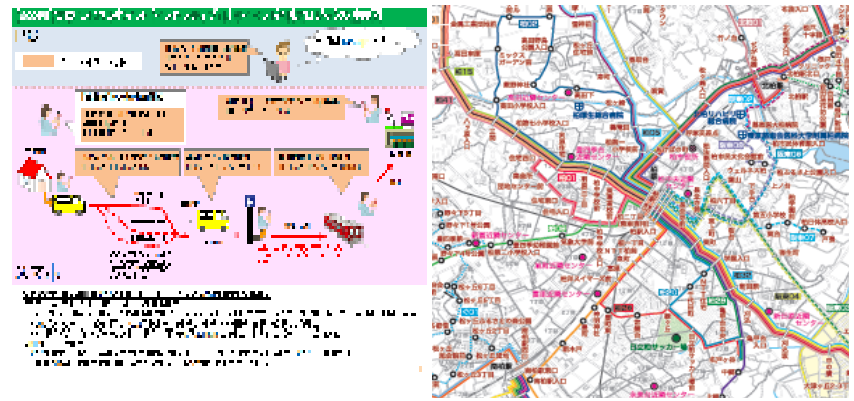
Q-①モビリティマネジメントの実施

●環境や健康などに配慮した交通行動を、大規模、かつ、個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策を中心として、ひとり一人の住民や、一つ一つの職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促すとともに、これまでも行われてきた様々な交通施策を実施し、こうした取り組みを通じて、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」を目指す。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 企業、市民	計画	コミュニケーション施策による公共交通への転換			B
	実績 (26年度末)	バスマップ配布			

進捗状況

ITS世界会議東京大会にあわせて、道路別CO2排出状況、柏市全体の排出量・ライブシチュエーション画像・仮想化空間イメージ画像・CO2総排出量グラフ・行動変容のススメ等を市民モニターに情報を提供し、車を利用する際のエコルートの推奨や公共交通機関利用への転換を進めた。
また、バス利用の促進を図るため、バスマップ・時刻表を作成し、市内公共施設を通じて市民に配布している。



今後の方向性 (中期以降)

CO2排出量の定量的な把握が可視化を含めて可能となっており、実験にとどまらず継続実施を模索していく。
課題点は、環境部とのさらなる連携、費用負担、市民への理解度および浸透度である。

Q. 市民等との協働体制づくり(重点的取り組み施策)

Q-②交通に関する情報の提供

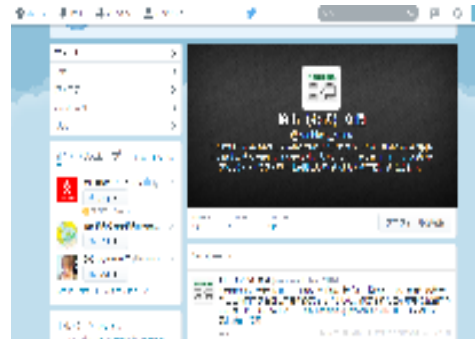
●「(仮称)柏交通だより」の発行, 出前講座の実施, ホームページの充実などにより, 交通に関心を寄せてもらい, 協働で交通施策を推進するような意識付けを行っていく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国 千葉県 柏市 企業, 市民	計 画	柏交通だよりの発行等, 交通の意識付け			B
	実 績 (26年度末)	リアルタイムな 情報発信			

進捗状況

ツイッターによる公共交通利用に関する情報等を発信。
また, 国道16号沿いにライブカメラを設置し, 国道16号の渋滞状況を, 柏市HPを通じて確認することができる。
なお, 交通だよりの発行は実施していない。

■ ツイッター画面



■ 国道16号ライブカメラ



今後の方向性 (中期以降)

今後も様々な情報伝達ツールを使用し, 市民への公共交通への意識付けを実施していく。

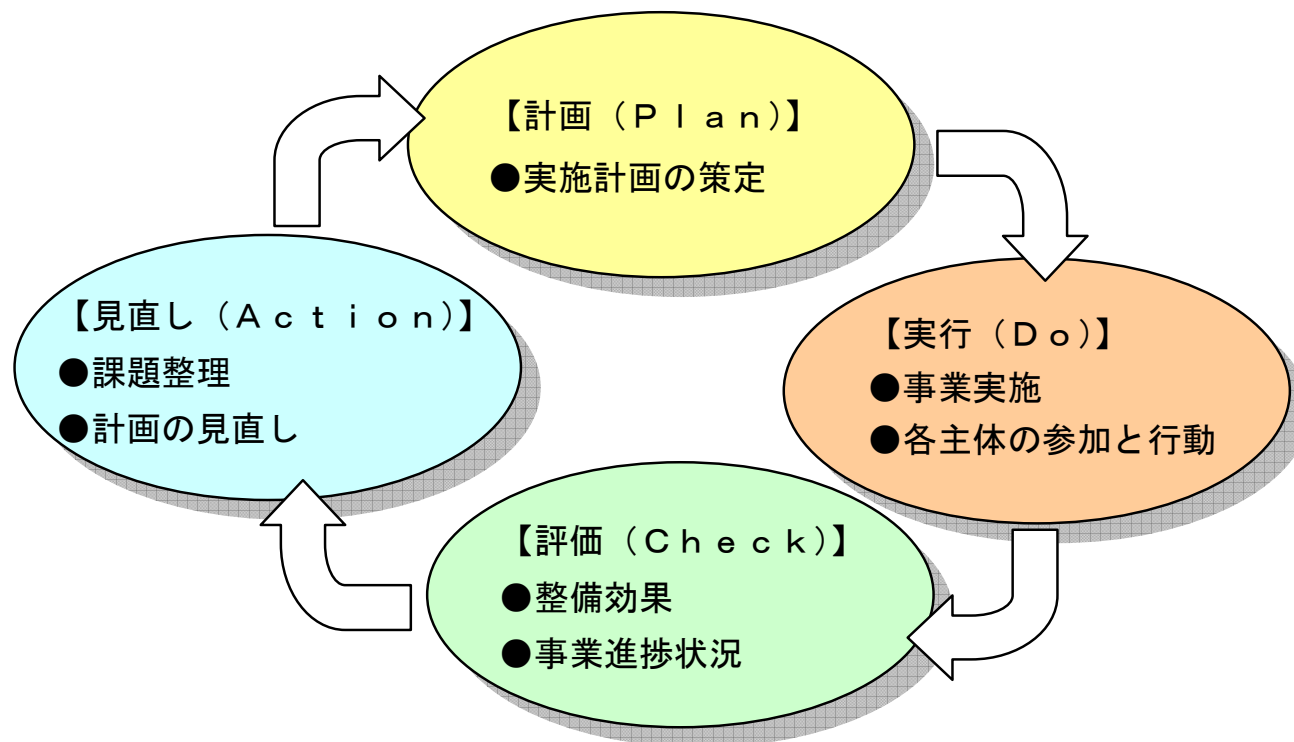
【目標4】市民との協働により支えあう交通

●方針8:市民等との協働による交通政策の推進

R. 施策の進行管理

①PDCAサイクルに基づく進行管理

- ・総合交通計画における施策の実行にあっては、定期的に施策の進捗状況、導入効果等を確認し、必要に応じて施策の見直しを行うなどPDCAサイクルに基づく進行管理を行う組織を設置していく。



R. 施策の進行管理

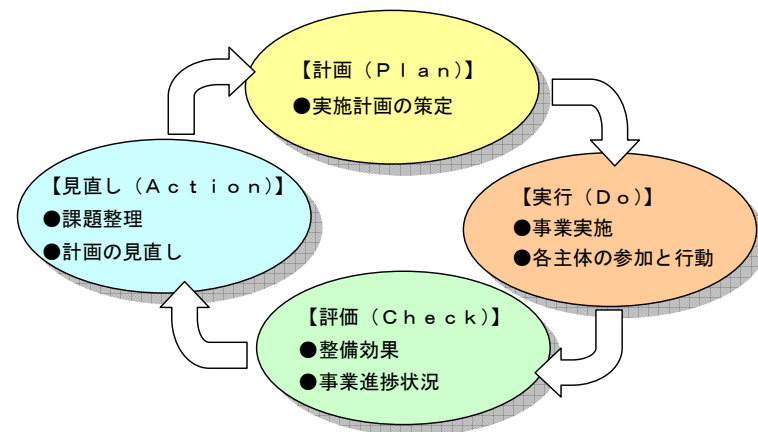
R-①PDCAサイクルに基づく進行管理

●総合交通計画における施策の実行にあつては、定期的に施策の進捗状況、導入効果等を確認し、必要に応じて施策の見直しを行うなどPDCAサイクルに基づく進行管理を行う組織を設置していく。

実施主体	スケジュール	短期 22～26年度	中期 27～28年度	長期 29～31年度	達成度
国, 千葉県, 柏市, 交通管 理者, 交通事 業者, 大学, 企業, 市民	計画	施策の進行管理			A
	実績 (26年度末)	内部評価の実施			

進捗状況

短期(平成22～26年)の終了に伴い、施策の進捗状況を確認し、内部にて達成度を評価した。



今後の方向性 (中期以降)

平成27年度に協議会を新たに立上げて、計画の中間評価並びに見直し等を行う。なお、見直し等の結果については柏市HPを通じて市民に公表する予定。